

# BOOKOFF GROUP HOLDINGS

## 2026年5月期 第2四半期 決算補足資料

2026年1月13日

ブックオフグループホールディングス株式会社

証券コード：9 2 7 8

連結決算概要	・ ・ ・ ・	2
セグメント別概要	・ ・ ・ ・	4
不正事案に対する再発防止策の進捗	・ ・ ・ ・	6
国内ブックオフ事業 既存店の状況	・ ・ ・ ・	7
グループ新規出店・店舗数推移	・ ・ ・ ・	9
中期経営方針期間 利益目標の見通し 連結業績予想	・ ・ ・ ・	13

- ◆ 中期経営方針3年目にあたる2026年5月期は、国内ブックオフ事業の既存店の伸長と各事業における新規出店により、売上高は引き続き伸長する。国内ブックオフ事業において、再発防止に向けた取り組みを進めながらも、持続可能な体制構築のための事業投資を継続。海外事業における増益等により、連結では営業利益、経常利益、親会社株主に帰属する当期純利益は増益を見込む。
- ◆ 第2四半期累計の連結売上高は61,104百万円（前期比107.6%）、連結経常利益は1,454百万円（同84.9%）、親会社株主に帰属する中間純利益は741百万円（同81.2%）となった。
- ◆ 第2四半期（3か月間）は、国内ブックオフ事業、プレミアムサービス事業において、増収増益となった。連結経常利益は867百万円（前期比167.1%）となり増益に転換した。純利益は、国内ブックオフ事業における戦略的な退店に伴う特別損失の影響などを含めても増益を確保した。
- ◆ 通期業績予想は2025年7月10日公表数値を据え置き。

単位：百万円

	2025年5月期 2Q累計	売上比	2026年5月期 2Q累計	売上比	前年同期差	前年同期比
売上高	56,781	-	61,104	-	+4,323	107.6%
売上総利益	32,396	57.1%	34,666	56.7%	+2,269	107.0%
販管費	30,898	54.4%	33,401	54.7%	+2,503	108.1%
営業利益	1,498	2.6%	1,264	2.1%	▲233	84.4%
営業外収益	380	0.7%	394	0.6%	+14	103.7%
営業外費用	165	0.3%	205	0.3%	+39	124.0%
経常利益	1,713	3.0%	1,454	2.4%	▲259	84.9%
特別利益	0	0.0%	70	0.1%	+70	12363.1%
特別損失	86	0.2%	178	0.3%	+91	206.7%
税金等調整前中間純利益	1,628	2.9%	1,347	2.2%	▲281	82.7%
法人税等	671	1.2%	554	0.9%	▲116	82.6%
非支配株主に帰属する中間純利益	44	0.1%	51	0.1%	+6	115.6%
親会社株主に帰属する中間純利益	912	1.6%	741	1.2%	▲171	81.2%

## 国内ブックオフ事業

直営既存店においてトレーディングカード・ホビーや貴金属・時計・ブランドバッグ、アパレル、書籍などの売上高が前期を上回った。人件費の増加は売上高の伸長に伴う売上総利益の増加で吸収したものの、システム機器の更新やツール類の価格改定等、システム関連費用が増加し、第2四半期累計売上高52,952百万円（前期比106.5%）、セグメント利益2,339百万円（同98.2%）となった。

第1四半期（6～8月）は減益だったが、第2四半期（9～11月）は各種費用の増加を売上総利益の増加が上回り、増益に転換した。

## プレミアムサービス事業

仕入金額の増加に伴い売上高は前期を上回ったが、人件費等の増加を売上総利益の増加で吸収するには至らず、第2四半期累計売上高4,029百万円（前期比117.6%）、セグメント利益▲14百万円（前期はセグメント利益17百万円）となった。

第2四半期（9～11月）は、貴金属相場高騰の影響による仕入増により、増益に転換した。

## 海外事業

アメリカ合衆国の「BOOKOFF」、マレーシアの「Jalan Jalan Japan」それぞれにおいて、新規出店および過年度出店が寄与し、売上高が前期を上回る一方、マレーシアの既存店売上高が前期を下回ったことなどにより、第2四半期累計売上高3,326百万円（前期比113.4%）、セグメント利益365百万円（同88.2%）となった。

単位：百万円

事業セグメント		2025年5月期 2Q累計	2026年5月期 2Q累計	前年同期差	前年同期比
国内ブックオフ事業	売上高	49,705	52,952	+3,246	106.5%
	セグメント利益	2,381	2,339	▲42	98.2%
プレミアムサービス事業	売上高	3,427	4,029	+601	117.6%
	セグメント利益	17	▲14	▲31	-
海外事業	売上高	2,933	3,326	+393	113.4%
	セグメント利益	414	365	▲48	88.2%
その他事業	売上高	714	795	+80	111.3%
	セグメント利益	▲110	▲169	▲59	-
調整額（全社）	セグメント利益	▲989	▲1,066	▲77	-
連結	売上高	56,781	61,104	+4,323	107.6%
	経常利益	1,713	1,454	▲259	84.9%

2024年11月に不正再発防止策として**予防的統制強化**に加え、**発見的統制（チェック）の強化**と会社全体で**不正を撲滅する姿勢の徹底**により、不正行為を抑止する環境づくりをすることを発表。2025年5月期末時点で**優先順位の高い再発防止策については完了済み**。

2026年5月期は「防犯カメラの増設」「従業員アンケート」に着手、継続的に「システム改修による不正防止対策」「店舗運営人員増強に関連する対策」を実施。

再発防止策 構成1	再発防止策 構成2	再発防止策 構成3	再発防止策 構成4
業務ルールの見直しと システム強化	業務統制に関する チェック強化	人員配置・評価基準の 見直し	コンプライアンス・企 業倫理向上
今回の不正事案の手口 を踏まえた現場業務の 対策 (予防的統制強化)	不正をさせない、早期 検知を踏まえた対策 (発見的統制 (チェック) 強化)	再発防止策実行の有効性を高めるための対策	

2026年5月期 四半期別前年同期比

	1Q	2Q	上期	3Q	3Q累計	4Q	通期
売上高	104.0%	109.1%	106.5%				
売上客数	100.4%	101.2%	100.8%				
仕入高	112.5%	102.8%	107.2%				
仕入客数	105.2%	98.0%	101.3%				

(参考) 2025年5月期 四半期別前年同期比

	1Q	2Q	上期	3Q	3Q累計	4Q	通期
売上高	105.5%	104.9%	105.2%	105.0%	105.1%	103.3%	104.6%
売上客数	103.9%	103.6%	103.7%	101.6%	103.0%	100.2%	102.3%
仕入高	90.9%	100.0%	95.7%	104.6%	98.7%	105.0%	100.4%
仕入客数	97.8%	99.8%	98.9%	100.2%	99.3%	99.6%	99.4%







商材名	売上高				仕入高			
	2Q期間		累計		2Q期間		累計	
	前年同期比	構成比	前年同期比	構成比	前年同期比	構成比	前年同期比	構成比
書籍	102.5%	20.5%	102.4%	21.6%	90.7%	12.9%	96.2%	13.5%
ソフトメディア (音楽・映像・ゲーム)	101.4%	20.3%	99.2%	20.8%	84.3%	19.9%	93.1%	20.7%
アパレル	109.6%	13.2%	108.9%	12.1%	100.8%	10.2%	104.2%	9.4%
貴金属・時計・ブランドバッグ	126.4%	10.8%	117.6%	10.0%	119.2%	18.0%	118.4%	17.0%
トレーディングカード・ホビー	118.1%	22.2%	114.4%	22.5%	122.0%	27.9%	124.4%	28.3%
家電・携帯電話	109.6%	4.8%	103.9%	4.9%	96.6%	6.1%	102.3%	6.0%
スポーツ・アウトドア用品	104.2%	3.5%	103.6%	3.5%	99.7%	3.9%	101.7%	3.8%
その他	104.1%	4.8%	104.1%	4.7%	96.6%	1.1%	102.5%	1.1%

国内ブックオフ事業

区分	店舗名	店舗パッケージ	OPEN日	所在地	売場面積	連結対象期間
直営店	トライアル伊勢崎中央店		2025/11/6	群馬県伊勢崎市	761坪	第2四半期

プレミアムサービス事業



区分	店舗名	店舗パッケージ	OPEN日	所在地	売場面積	連結対象期間
直営店	井筒屋中間ショップ		2025/7/18	福岡県中間市	-	第1四半期
直営店	日本橋高島屋S.C.店		2025/7/25	東京都中央区	-	第1四半期
直営店	柏高島屋ステーションモール店		2025/9/13	千葉県柏市	-	第2四半期
直営店	芦屋モンテメール店		2025/11/1	兵庫県芦屋市	-	第2四半期

海外事業

区分	店舗名	店舗パッケージ	OPEN日	所在地	売場面積	連結対象期間
直営店	NOHO店		2025/3/28	アメリカ合衆国	47坪	第1四半期
直営店	Mesa Mall Nilai店		2025/5/23	マレーシア	282坪	第1四半期
直営店	Galleria Kotaraya店		2025/8/2	マレーシア	104坪	第2四半期
直営店	Wangsa Maju店		2025/9/4	マレーシア	239坪	第2四半期

※ 海外子会社の決算期が連結会計期間と異なるため、「Jalan Jalan Japan」は2025年4月～2025年9月まで、「BOOKOFF USA」は2025年3月～2025年8月までにオープンした店舗を記載。

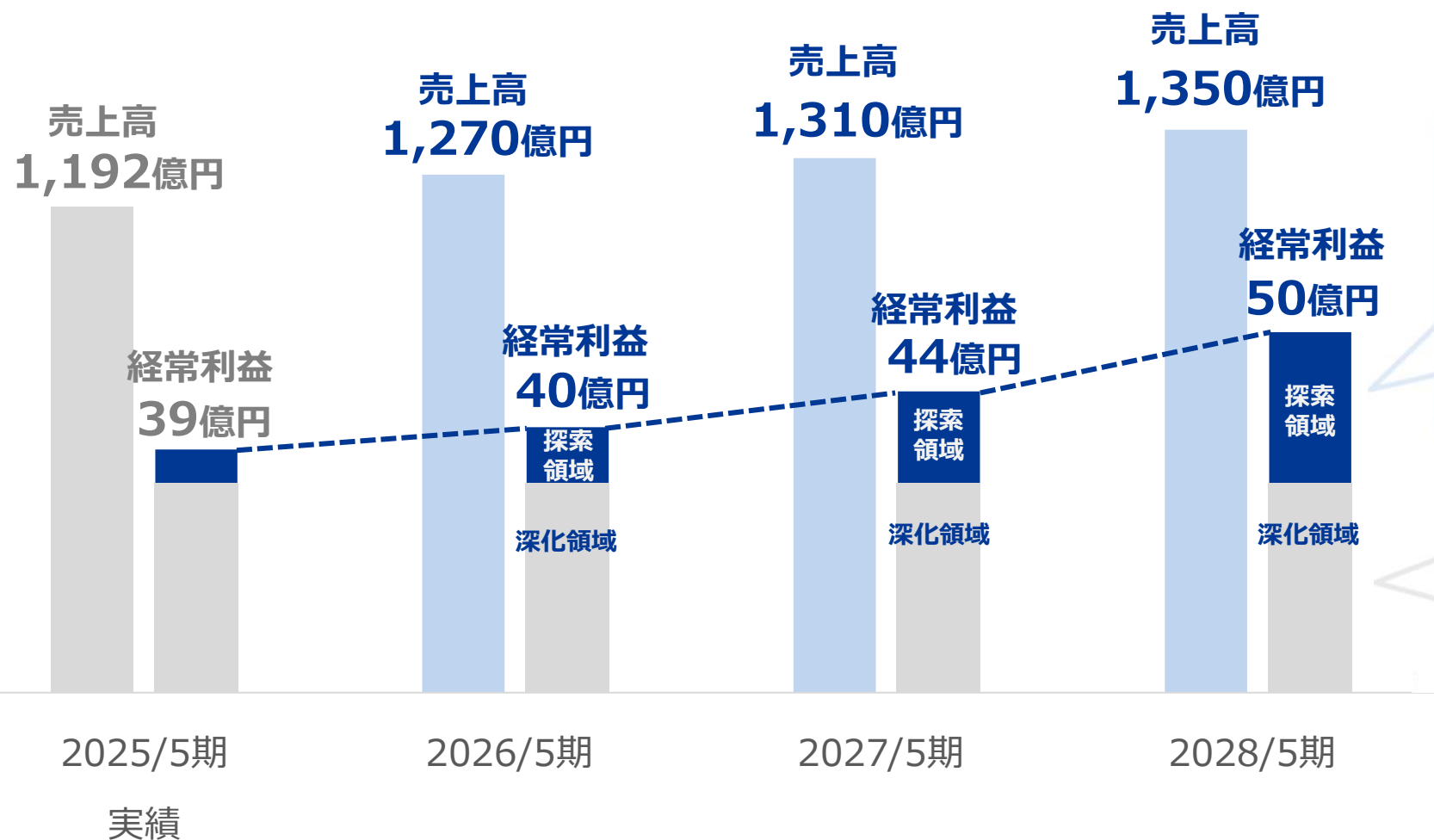
その他事業

区分	店舗名	店舗パッケージ	OPEN日	所在地	売場面積	連結対象期間
直営店	八王子駅前店		2025/6/21	東京都八王子市	41坪	第1四半期
直営店	千葉駅前店		2025/10/16	千葉県千葉市	38坪	第2四半期

営業年月		2025年						2026年					
		6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月
国内ブックオフ事業計		741	742	740	739	735	732						
国内ブックオフ事業	直営店	374	373	380	379	375	373						
	加盟店	367	369	360	360	360	359						
プレミアムサービス事業		52	54	53	54	53	54						
海外事業計		44	45	45	45	46	47						
海外事業	直営店	36	37	37	33	34	35						
	加盟店	8	8	8	12	12	12						
その他事業		7	7	7	7	8	8						
グループ合計		844	848	845	845	842	841						

※ 国内連結子会社、海外子会社の決算期が連結決算期と異なるため、当連結会計期間に対応する店舗数を記載。

# 2028/5期 売上高1,350億円、経常利益50億円



<p>プレミアムサービス事業</p> <p>hugall</p> <p>Rehello by book-off</p> <p>aidect</p>	<p>海外事業</p> <p>J</p> <p>BOOK-OFF</p>	<p>事業開発領域</p> <p>Japan TCG center</p> <p>ブックオフ おかたづけサービス</p> <p>CD-プラ</p>
<p>国内ブックオフ事業</p> <p>BOOK-OFF BAZAAR</p> <p>BOOK-OFF</p> <p>BOOK-OFF PLUS+</p> <p>BOOK-OFF 公式オンラインストア</p> <p>あそびバ</p>		

単位：百万円

	2025年5月期 実績	2026年5月期 予想	前期差	前期比
売上高	119,205	127,000	+7,794	106.5%
営業利益	3,448	3,800	+351	110.2%
経常利益	3,903	4,000	+96	102.5%
親会社株主に帰属する当期純利益	2,101	2,200	+98	104.7%
1株あたり期末配当金	25円	30円	+5円	120.0%

- ✓ 通期業績見通しは、2025年7月10日公表予想から変更なし。
- ✓ 中期経営方針3年目にあたる2026年5月期は、国内ブックオフ事業の既存店の伸長と各事業における新規出店により、売上高は引き続き伸長する。
- ✓ 国内ブックオフ事業において、再発防止に向けた取り組みを進めながらも、持続可能な体制構築のための事業投資を継続。海外事業における増益等により、連結では営業利益、経常利益、親会社株主に帰属する当期純利益は増益を見込む。
- ✓ 期末配当金は、前期実績から5円増配し、1株あたり30円を予定。

多くの人に楽しく豊かな生活を提供する

# BOOKOFF GROUP HOLDINGS

本資料に関するお問い合わせ先

ブックオフグループホールディングス株式会社 グループ戦略企画部

Mail : [irinfo@bookoff.co.jp](mailto:irinfo@bookoff.co.jp)

[https://www.bookoffgroup.co.jp/contact\\_us/top/contact-us-01/](https://www.bookoffgroup.co.jp/contact_us/top/contact-us-01/)

本プレゼンテーション資料に記載されている計画、戦略、財務的予測のうち、歴史的事実でないものは、当社が現在入手可能な情報に基づき判断した将来の見通しに関する記述であり、経営環境等の変化により内容が大きく変動する可能性があります。